

DIPD CAMPUS

大同工大キャンパス

号外

2007.4



応募総数663件の頂点
日本一の栄光に輝く!

情報機械システム工学科 4年
近藤 弘憲くん

電気電子工学科 3年
早川 明利くん

キャンパスベンチャーグランプリ全国大会で
文部科学大臣賞(テクノロジー部門大賞)受賞!



次をつくる人をつくる

大同工業大学

第4回 キャンパスベンチャーグランプリ中部大会

大賞(グランプリ)受賞!!



大賞の近藤さんと早川くんをセンターに記念撮影

中部の学生による新事業提案コンペ「第4回 キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中部大会」において、工学部 情報機械システム工学科4年 近藤弘憲さんと工学部 電気電子工学科3年 早川明利くんが提案した「リモコン花火」電子工作キットが大賞(グランプリ)に選ばれた。

2人は1月30日(火)、名古屋マリオットアソシアホテルで行われた表彰式で、

賞状と賞金100万円、それに東京で開かれる全国大会への出場権を手にした。



安井大会委員長から表彰状を贈られる近藤くん

「ものづくり中部を全国大会で大きくアピールしていきます!」とスピーチする近藤くん



CVG中部とは、日本の次世代を担う若者の育成を目的に、中部地区の大学、高等専門学校などの学生を対象として新商品、事業アイデア、ビジネスプランを公募し、優れたプランを顕彰するもの。審査ではアイデア、発想の独創性、ビジネスとしての新規性や市場性、わかりやすさなどが評価のポイントとされる。



安井大会委員長から祝福される早川くん

応募総数92件(23大学・高専)の頂点である「大賞(グランプリ)」に輝いた、近藤さんと早川くん。アイデア、試作品製作、プレゼンテーション等において、オリジナリティが光っていたとの評価を得て受賞した。前年の第3回大会は近藤くん1人で挑み、「中部経済連合会長賞」を受賞している。彼にとって今回は2度目のチャレンジ。前回商品化に向け指摘された問題点などを解決、さらに他学科(電気電子工学科)の早川くんとタッグを組んで試作品を製作し、念願の大賞をつかんだ。

幼い子どもや高齢者など機械操作に抵抗がある人たちにとっては、家電製品それぞれのリモコンを使いこなすことは大変だ。そこで2人が考案した「リモコン花火」は、声に出して操作を指示するだけで、室内にある複数の家電製品を操作できる代物。家電製品に囲まれて、便利なはずの現代生活で陥っている問題を解決する装置といえよう。



ペットボトル等リサイクル部品を利用して製作した「リモコン花火の試作品」

2007年 産学官交流パーティー 名古屋産産人クラブ、CVG中部実行委員会、日刊工業新聞社



(写真:左から)和田均副学長、澤岡昭学長(早川くん、近藤くん) 西堀賢司教授がお祝いに駆けつけた

第3回 キャンパスベンチャーグランプリ全国大会

最終選考に残ったのは、東京大学大学院生、大阪大学大学院生、そして大同工業大学の学部生。文部科学大臣賞(テクノロジー部門大賞)を勝ち取ったのは、大同工業大学の学部生、近藤弘憲さんと早川明利くん!

この大会は全国8エリア(北海道・東北・東京・中部・大阪・中国・四国・九州)の応募663件から、地区大会大賞などの優秀案件11件を審査対象に、3月7日(水)、東京・丸の内パレスホテルで開かれた。

中部大会の表彰式で「ものづくり中部を全国大会で大きくアピールしていきます!」とスピーチした近藤くん。見事、全国大会で最高の賞である「文部科学大臣賞(テクノロジー部門大賞)」を受賞した。

2人の全国大会での活躍に安井義博CVG中部実行委員長(プラザー工業株式会社 代表取締役会長)から「モノづくり産業を牽引する中部で育まれた旺盛なチャレンジ精神と豊かな発想が全国で認められたこと たいへん嬉しく思います」との祝電が届いた。



文部科学大臣賞の表彰状を手にした、近藤さんと早川くん

「発明家になることが小学生の時から夢。この受賞で夢に自信が持てました」(近藤くん)、「世の中を便利にしたいとずっと考えてきました。リモコン花火でそれを現実になりたいです」(早川くん)という2人のアイデアを高く評価する企業(株式会社ユニメック)が登場。同社がリモコン花火専用の研究室兼工場を設ける話も進んでいる。

いよいよ2人の夢が現実となって動き始めた。



Interviewer
澤岡昭学長



文部科学大臣賞
(テクノロジー部門大賞)受賞者
近藤弘憲くん&早川明利くん



澤岡学長

近藤くん&早川くん

夢をあきらめたくない!

CVG全国大会でテクノロジー部門の大賞である文部科学大臣賞を受賞した、近藤くん&早川くんに澤岡学長がインタビュー。

[学長] 全国大会で、最終選考に残ったのは、東京大学・大阪大学そして本学でしたね。実際にその2校のプレゼンテーションを見てどう印象を持ちましたか?

[近藤] 相手は大学院生で内容も修士論文ということもあって、とても慣れていました。笑顔でわかり易く、会話形式のすばらしいプレゼンテーションでした。

[学長] 君たちのプレゼンテーションはうまくいったの?

[近藤] プレゼン開始早々のデモンストレーションでテレビの電源を音声で切ろうとしたのですが、なかなか認識してくれなくて…。

[学長] その時、すごく慌てたんじゃない?

[早川] 僕は最悪、手で切ればいいやと思っていたのですが、先輩(近藤)の慌てぶりときたらすごかったです。

[近藤] そのハプニングが「審査員に変な印象を与えてしまった…」と余計な心配をしちゃって、全体的に早口になってしまいました。

[早川] 正直、ダメだ…と思いました。まさか自分たちが勝つとは思いませんでした。

[近藤] 表彰式後の交流会で審査員の方から「あらゆる方向から君たちに質問攻撃をしたが、質問すればするほど、君たち自身のアイデアなんだことがよくわかったよ」と言われました。

[学長] 君たちのプレゼンテーションは型にはまったものではなく、その時その時でよく考え、自分たちの言葉で伝えるスタイルだったようだね。聞き方によっては「たどたど」していたのかもしれないけれども、そのスタイルは逆にオリジナリティを印象付けたのでしょうか。



夢について熱く語る近藤くん

[学長] 高校時代、大学ではどういったことにチャ

レンジしたいと思っていましたか?

[近藤] 発明家になることが夢だった私は理系大学への進学を希望していましたが、出身高校は物理の授業がありませんでした。本学へは推薦で入学することができましたが、あまりにも初めてのことが多すぎて困りました。もちろん授業にも全くついていくことができませんでした。しかし「自分の夢へのルールにやっと乗りかけたのだから、あきらめたくない。できる限り努力しよう。それでもダメならしょうがない」と考え、毎日9時にキャンパスに来て、学習支援センターや図書館に通いました。結果、大学での勉強のやり方に慣れ、コツを掴み、単位をひとつも落とすことなく1年前期を終えることができました。私は理系大学の授業についていくこと自体がチャレンジそのものでした。

[早川] 私は高校のときから「ロボット研究サークル」に所属していたので、引き続き大学でもチャレンジしたいと思っていました。

[学長] よく、電気は見えないから難しい、機械は動くから感覚的にわかるって言うけど、早川くんは機械と電気だとやっぱり電気が好きなの?

[早川] 父親が制御回路の設計をしていて、そういった製品が身近にあったため、子どもの時から電気が好きでした。



二人にインタビューする澤岡学長

[学長] 近藤くんは情報機械システム工学科で早川くんは電気電子工学科ということで、今回は違う分野のふたりがうまくコラボレーションできたことが受賞に繋がったのだと思いますが、コンビ結成のきっかけはなんだったのですか?

[近藤] 前年の第3回CVG中部大会では試作品を作っていなかった点を審査員から問題点のひとつとして指摘されました。私はアイデアを持

ていましたが、ひとりで試作品を製作できる技術はなかったので、同じロボット研究同好会の仲間が一番電気に詳しい早川くんに相談しました。自分の持つ機械スキルとアイデア、そして早川くんの電気スキルがうまくマッチしたので、リモコン花火の試作品が完成しました。我ながらすばらしいコンビネーションだったと思います。

[学長] 「リモコン花火」という名前を始めて聞いた時、非常に子どもっぽいなとは思ったのですが、それが意外と業界では、関心を持たれているようですね。ネーミングの由来って何かあるのですか?

[近藤] はじめは赤外線を四方八方に飛ばすという意味で「八方リモコン」だったのですが、何か違うと思い、西堀研究室の仲間と絵に描きながら考えていたら、赤外線がミラーにあたって放射状に拡散している様子が「花火」に見えたので「これだ!」と思って名付けました。

[学長] 英語の名前は考えてる?

そのまま英語にしたら気持ちが伝わらないよね。

[近藤] 検討中です。イメージとしては「Infrared Magic(赤外線マジック)」のような名前を使いたいと思っています。

[学長] 近藤くんは本学大学院に進学し、早川くんは就職活動とさらに忙しくなると思いますが、リモコン花火の今後の展開は大丈夫?

[近藤] 株式会社ユニメックさんが全面的にバックアップしてくれます。商品化に向けて話は進んでいて、東京の試作会社に依頼することが今日決まりました。

[学長] おそらく、ものすごくコンパクトになるんだろうね。

特許はどうなっているの?

[近藤] 2006年の2月に国内優先特許(アイデア特許)、2007年1月に追加特許、分割特許を出願しています。

[学長] 大同工業大学の歴史の中で日本一の賞を受賞したことは、前例のない歴史的快挙です。大変嬉しく思っております。本当におめでとう!

学内表彰

学長賞

3月8日(木)、学長室で澤岡昭学長より学長賞が授与された。
第4回キャンパスベンチャーグランプリ中部大会で大賞(グランプリ)を受賞した功績が認められての受賞だ。



(写真：左から)早川くんの指導教員/山田忠比古教授、早川くん、澤岡昭学長、近藤くん、近藤くんの指導教員/西堀賢司教授、学生部長/服部文彦教授

理事長賞

4月2日(月)、石井記念体育館で入学式を終えた新入生が見守るなか、田中卓理事長より理事長賞が授与された。

第3回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会で、文部科学大臣賞(テクノロジー部門大賞)を受賞した功績が認められての受賞だ。



田中卓理事長から表彰状を贈られる近藤くと早川くん

2人の活躍を 全国に伝える日刊工業新聞



日刊工業新聞/2007.1.30



日刊工業新聞/2007.1.9



日刊工業新聞/2007.3.22



日刊工業新聞/2007.3.8



日刊工業新聞/2007.3.9



日刊工業新聞/2007.1.31



なごや地下鉄ガイド・春号/2007.4.1